

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：しらとり台保育園（本園） しらとり台保育園つつしが丘（分園）	種別：児童分野 認可保育所	
代表者氏名：園長 佐野ルミ子	定員（利用人数）： 90（110）名（本園） 45（55）名（分園）	
所在地：横浜市青葉区しらとり台17-58（本園） 横浜市青葉区つつしが丘29-18（分園）		
TEL：045-981-7150	ホームページ：しらとり台保育園.com	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：1969年6月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人しらとり台保育園		
職員数	常勤職員：44名 非常勤職員：3名	
専門職員	保育士：32名 調理員：2名	栄養士：3名 看護師：1名
施設・設備 の概要	（居室数）： 本園：6室 分園：8室	（設備等） 厨房、地域子育て支援室、一時保育 室、調乳室、沐浴室、休憩室、事 務所など

③理念・基本方針

（園の理念） 児童福祉法39条に基づき保育に欠ける乳幼児の保育を行い、その心身の健全な育成を図ります。 一人ひとり個性をもった園児の集団生活を通じて、明るく豊かな心と健やかな体をはぐくみ「知・徳・体」のバランスのとれた保育を行います。
（基本方針） 「自分で考え行動できる子ども」「明るく素直で思いやりのある優しい子ども」を保育目標とし、豊かな人間性を持った子どもを育成します。

④施設・事業所の特徴的な取組

しらとり台保育園は、東急田園都市線青葉台駅より徒歩10分ほどの住宅街の中にあります。園庭には桜やイチョウ、藤の花等四季折々の景色が楽しめます。分園のしらとり台保育園つつしが丘は、本園から徒歩4分ほどで大通りに沿って設置されています。園庭が隣接され、戸外遊びがより多く取り入れられるようになりました。両園ともに近隣には公園があり、自然を感じられる環境となっています。 開園時間は、平日（月～金曜日）は7:00～20:00、土曜日は7:00～18:30となっており、産休明けより5歳児までの園児を受け入れています。 3歳児より専門講師による体育・英会話・かきかた・知育、4歳児から音楽指導、5歳児では造形指導等カリキュラム活動も豊富に行っています。 一人ひとり個性を持った園児が発表会や運動会等の行事を経験したり、日々の集団生活を通じて、明るく豊かな心と健やかな身体を育み、「知・徳・体」のバランスのと
--

れた保育を行っています。
クリスマスシーズンには、青葉台駅前に園児が製作したクリスマスオーナメントが毎年飾られたりと、1969年から続く地域に根付いた保育園です。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年8月5日（契約日）～ 2023年3月30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 2017年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

【特長】

◆子ども一人ひとりの子どもを尊重し、子どもたちの健全な社会性や学び合いを育んでいます

園の倫理綱領で子どもの最善の利益の尊重を第一条に掲げ、一人の個として捉え尊重することを謳っています。保育士は園長の優しくさりげない見守りとフォローのもと、穏やかで柔軟性があり、子どもの甘えを受け止め、子どもの意欲を大切にしてい見守り、声掛けをしたり、必要な手助けをしたりしています。子どもが話し合うときには、保育士が少数の声も聞き逃さず拾って伝えています。こうした取組を通して、子どもたちは安心して自分から気持ちを表現することができ、自信や意欲を育んでいます。幼児はお互いに主張し合ったり譲り合ったりしながら、自分たちで着地点を見つけています。異年齢合同の活動の中では、年上の子どもが優しい言葉で説明したり年下の仲裁をしたりする姿もあり、子ども同士が集団の中で学び合っています。本園と分園の園児の交流を頻繁に行っており、大人数で多様性に富む本園と、比較的少人数でゆったり見守られ過ごしている分園、それぞれの集団の良さが生かされ、子どもたちは社会性の幅を広げています。

◆保育の質の保障・向上に積極的に取り組んでいます

園は人材育成に力を注いでいて、階層別に職員のあるべき姿を明確にして職員に提示しており、保育士はスキルアップシートを用いて目標を設定して自己啓発に取り組んでいます。人権擁護のためのより良い保育を目指して、保育士は定期的にグループを組んで話し合いを持っています。その中で、子どもとの具体的な関わり方や言葉掛けについて振り返り、反省や悩みを共有しながら改善への工夫を検討し、方向性を統一して保育の質の向上に努めています。保育に関するマニュアルについては、整備、見直し、職員への周知・定着をはかる取組が積極的に行われています。業務の手順を示す各マニュアルは、写真やイラストを用いて伝え方を工夫しています。動画による解説を取り入れた新人研修や園内研修を行い、知識や技術の向上を目指しています。また、保育に関する知識について各自の理解度を定期的にチェックリストで確認し、結果を分析して定着をはかっています。法人系列4園協同で土曜保育や合同行事、研修事業等を行うことで、業務の効率化や職員の負担軽減に繋がっており、余裕を持った人員配置により保育の質を担保しています。

◆中期計画と単年度計画の整合性を図り、数値目標や具体的な成果等を設定することが期待されます

法人として中長期計画を策定しており、理念や基本方針の実現に向けた目標を明確にした上で経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっています。これを元に、園としての中長期計画及び年次計画を策定することが望まれます。また、中長期計画・単年度計画は、計画内容・担当責任者・時系列での実行予定時期・達成目

標を確認することができる内容にした上で、それぞれの達成状況がわかるように具体的にわかりやすく可視化して進捗管理することでPDCAサイクルによる改善につながる仕組みまでを構築することが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、受審するにあたり、自己評価を各自で行ったうえで、少人数のグループに分かれて話し合い、その結果を園長と主任保育士でまとめていきました。

話し合いを重ねることで、園の保育理念や基本方針を再認識すると共に、一人ひとりの職員が保育を見つめ直し、より良い保育について考えることができ、とても良い機会となりました。

日頃より保育で取り組んでいることに着目し評価していただいた内容に関しては、自信を持ちながらもより一層向上できるよう努力すると共に、課題については、ご助言いただいたことを活かし、今後も取り組んでまいりたいと思います。

今回の受審にあたり、お忙しい中、利用者調査にご協力いただいた保護者の皆さま、ご尽力いただいた評価機関の皆さまに心より感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり